

学校部活動の地域連携及び地域移行について

令和5年7月に策定した「学校部活動の地域連携及び地域クラブ活動への移行に向けた推進計画」の「7 成果指標」より、公立中学校等の学校部活動の地域連携・地域クラブ活動への移行状況を把握するため、地域移行に関する状況調査を実施した。

調査対象：35市町村地域移行担当部局（教育委員会、スポーツ・文化部局等）

調査期間：令和5年12月27日から令和6年1月15日

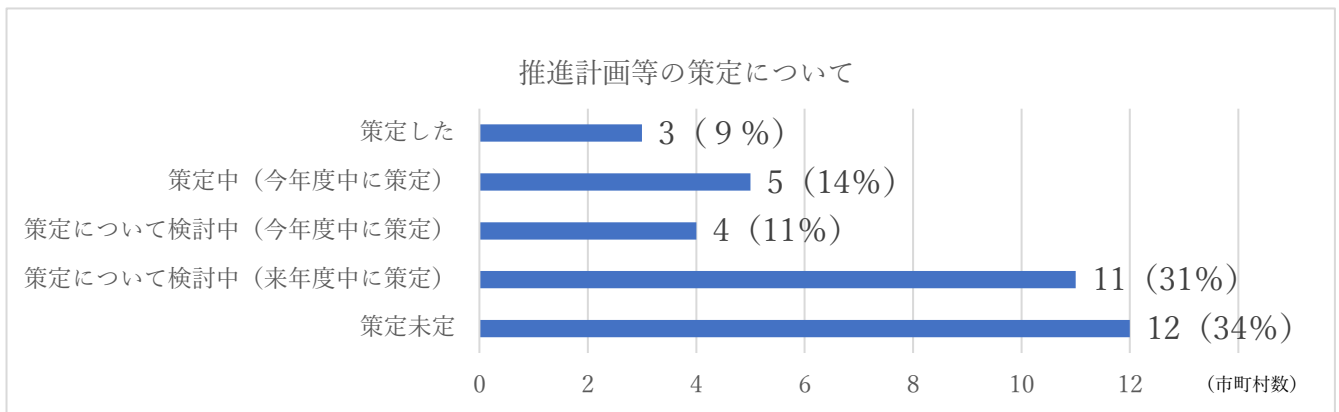
※本調査は、県教育委員会と県地域創生部により実施

<調査結果>

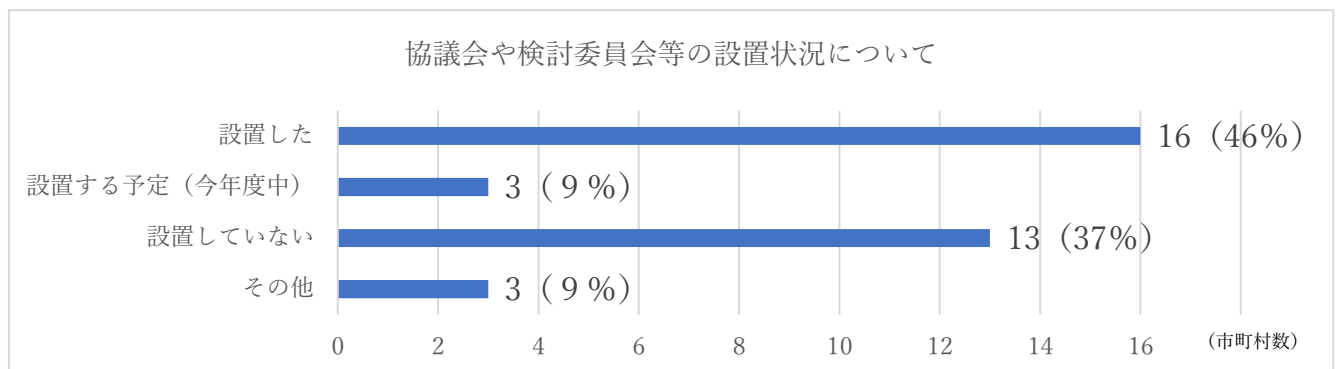
1 学校部活動の地域連携・地域クラブ活動への移行に取り組む市町村の状況

- 地域連携に取り組んでいる市町村 94% (33市町村)
 - ・部活動指導員が部活動を行っている学校 57% (88校/154校)
 - ・外部指導者が部活動を行っている学校 82% (127校/154校)
- 地域移行に取り組んでいる市町村 43% (15市町村)
 - ・地域移行を行っている学校 18% (28校/154校)

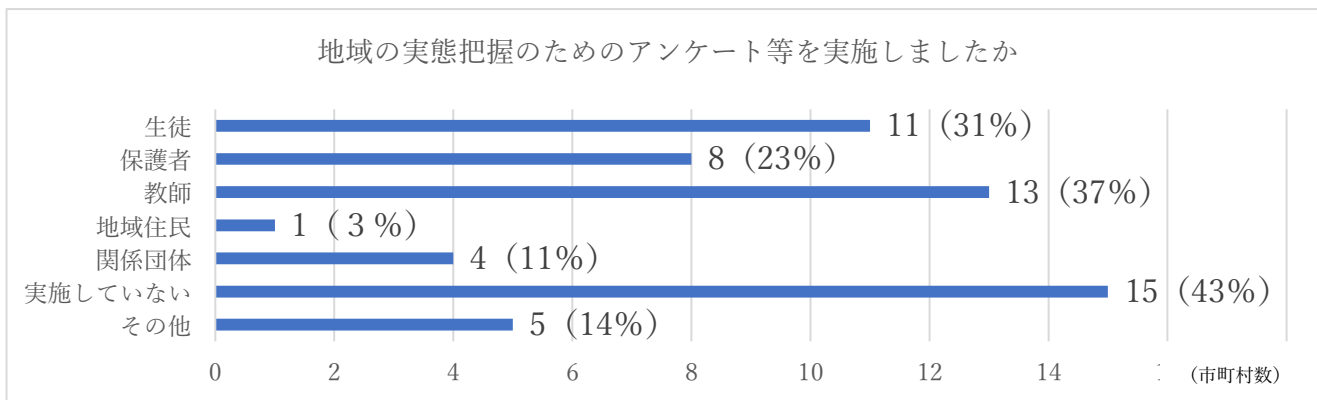
2 推進計画等策定状況



3 協議会や検討委員会等の設置状況



4 実態把握の状況（複数回答あり）



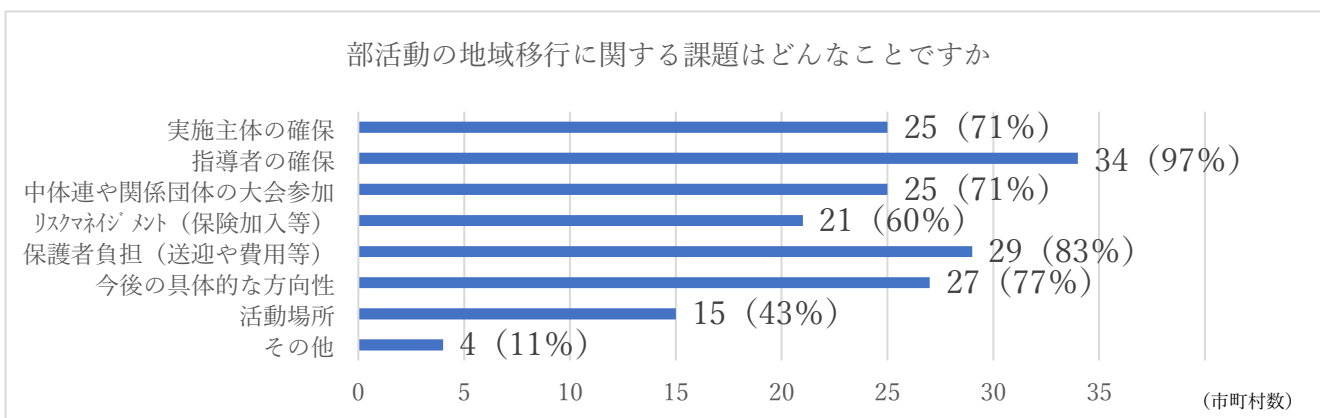
5 地域移行を行っている運営主体

- 総合型地域スポーツクラブ 2クラブ
- スポーツ少年団 6スポーツ少年団
- スポーツ協会関係等 10団体
- 文化活動団体・企業等 4団体
- 市町村教育委員会 3市町

6 市町村独自の取組

- ・平日については基本的に顧問（教員）が指導を行っている。休日については社会体育として自主練習（外部指導者や保護者同伴）を行っている部もある。
- ・合同練習会（部活動の地域移行の取組として、競技ごとで集まり練習会を実施）
- ・第二土日の部活動なし（令和6年2月から4月試行）。その期間に受け皿となるような事業等について依頼中。 等

7 課題と考えていること（複数回答あり）



8 成果と考えていること（自由記述）

- ・地域の大人と中学生が交流する場・時間が増えた。
- ・生徒が専門的な指導を受けられている。
- ・アンケート調査を行い、それぞれの立場からの意見を伺うことができ、実施計画の策定につながる良い機会となった。
- ・部活動指導員や外部コーチの活用によって、効果的な技術指導が可能となったり、教職員の負担軽減つながったりしている。 等

9 今後の群馬県の取組

- ・実証事業の拡充（令和6年度 実証事業団体の拡充）
- ・地域移行に関する相談や助言等の充実（令和6年度 県総括コーディネーターの増員）
- ・地域移行に関するセミナー等の開催
- ・保護者・地域住民向けリーフレット等の作成及び周知（令和5年度中） 等